

手段的日常生活動作能力検査(Instrumental ADL; IADL) Lawton & Brody

項目	配点	入院時	退院時
A 電話を使用する能力	1. 自分から電話をかける（電話帳を調べたり、ダイヤル番号を回すなど）	1	1
	2. 2.3 のよく知っている番号をかける	1	1
	3. 電話に出るが自分からかけることはない	1	1
	4. 全く電話を使用しない	0	0
B 買い物	1. 全ての買い物は自分で行う	1	1
	2. 少額の買い物は自分で行える	0	0
	3. 買い物に行くときはいつも付き添いが必要	0	0
	4. 全く買い物はできない	0	0
C 食事の準備	1. 適切な食事を自分で計画し準備し給仕する	1	1
	2. 材料が供与されれば適切な食事を準備する	0	0
	3. 準備された食事を温めて給仕する、あるいは食事を準備するが適切な食事内容を維持しない	0	0
	4. 食事の準備と給仕をしてもらう必要がある	0	0
D 家事	1. 家事を一人でこなす、あるいは時に手助けを要する（例：重労働など）	1	1
	2. 皿洗いやベッドの支度などの日常的仕事はできる	1	1
	3. 簡単な日常的仕事はできるが、妥当な清潔さの基準を保てない	1	1
	4. 全ての家事に手助けを必要とする	1	1
	5. 全ての家事にかかわらない	0	0
E 洗濯	1. 自分の洗濯は完全に行う	1	1
	2. ソックス、靴下のゆすぎなど簡単な洗濯をする	1	1
	3. 全て他人にしてもらわなければならない	0	0
F 移送の形式	1. 自分で公的機関を利用して旅行したり自家用車を運転する	1	1
	2. タクシーを利用して旅行するが、その他の公的輸送機関は利用しない	1	1
	3. 付き添いがいたり皆と一緒に公的輸送機関で旅行する	1	1
	4. 付き添いか皆と一緒に、タクシーか自家用車に限り旅行する	0	0
	5. まったく旅行しない	0	0
G 自分の服薬管理	1. 正しいときに正しい量の薬を飲むことに責任が持てる	1	1
	2. あらかじめ薬が分けて準備されていていれば飲むことができる	0	0
	3. 自分の薬を管理できない	0	0
H 財産取り扱い能力	1. 経済的問題を自分で管理して一連の収入を得て、維持する （予算、小切手書き、掛金支払い、銀行へ行く）	1	1
	2. 日々の小銭は管理するが、預金や大金などでは手助けを必要とする	1	1
	3. 金銭の取り扱いができない	0	0
採点法は各項目ごとに該当する右端の数値を合計する。（満点：8点）			
注：「食事の準備」「家事」「洗濯」は本邦の男性は元々行う習慣がない場合があることに留意する			

(Lawton MO & Brody EM: Assessment of older people: Self-Managing and instrumental activities of daily living. Gerontologist 1969; 9: 179-186)